

2020年4月中旬 配本予定

『「Cosmo-Eggs | 宇宙の卵」—コレクティブ以後のアート』

定価:2300+税/248頁/モノクロ (一部カラー) /ソフトカバー/B5変型/デザイン:田中義久 ISBN978-4-907562-20-5 C0070



表紙+帯イメージ

第58回ヴェネチア・ビエンナーレ国際美術展

日本館展示「Cosmo-Eggs | 宇宙の卵」

下道基行、安野太郎、石倉敏明、能作文徳、服部浩之

この度、アーティゾン美術館で行われる第58回ヴェネチア・ビエンナーレ国際美術展 日本館帰国展「Cosmo-Eggs | 宇宙の卵」に際して、本展の内容をつぶさに振り返り、またそこから発展させた様々な現代におけるトピックを、作家自身、または第三者との対話によって再考する一冊を刊行します。

展覧会「Cosmo-Eggs | 宇宙の卵」では、「津波石」を起点に、創作神話、映像作品、音楽、その音を出す装置としてのバルーンなど複数の要素が、ひとつの展示空間で共鳴合います。ジャンルの異なる5人によるコレクティブを「共異体」を呼び、そこでは最終形態となる展示だけではなく、至るまでのプロセスや対話をも掬い上げる試みを行っています。現代の神話が生まれるとき、作家は何を考え、実践したのか——。単なるアーカイブとしての記録だけではなく、ひとつの展覧会から広がる可能性の数々、あるいはコレクティブとしての意義を共に考えることで、同時代を生き抜くための指南書となるでしょう。

*本書はLIXIL出版刊行『Cosmo-Eggs | 宇宙の卵』の第二弾となる、テキスト主とした書籍です。

主な内容

- ◆コレクティブでつくるアート、それを支える固有の倫理
アデ・ダルマワン (アーティスト、ルアンルパ ディレクター) ×服部浩之
- ◆複数の時間を生きる風景——シリーズ「津波石」の制作プロセス 下道基行
- ◆共異体のフィールドワーク——東アジア多島海からの世界制作に向けて 石倉敏明
- ◆「ゾンビ音楽」の辿った数奇な運命 安野太郎
- ◆人新世のエコロジーから、建築とアートを考える 篠原雅武 (思想家) ×能作文徳
- ◆体現する印刷物——アーカイブ時代を迎えた美術展のグラフィックデザイン
森大志郎 (グラフィックデザイナー) ×田中義久

関連展示「第58回ヴェネチア・ビエンナーレ国際美術展 日本館展示帰国展 Cosmo-Eggs | 宇宙の卵」
アーティゾン美術館 2020年4月18日～6月21日

▶ご注文はツバメ出版流通まで **FAX: 03-3721-1922**

mail:info@tsubamebook.com
TEL:03-6715-6121 http://tsubamebook.com

貴店名(番線印) ご担当: 様	新刊 torch press www.torchpress.net 返品条件付注文扱い 返品了解 ツバメ出版流通:川人
	注文数 『「Cosmo-Eggs 宇宙の卵」 —コレクティブ以後のアート』 ISBN978-4-907562-20-5 C0070 定価2,300円+税